

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年1月12日

協議会名:新発田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現計画の評価、上位、関連計画等と本計画の位置付整理 ・新発田市の現状整理 ・地域住民アンケートの実施 ・バス利用者アンケート、乗降実態調査 ・関係事業者ヒアリング ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <p>新発田市における公共交通をとりまく主な課題を整理した。</p> <p>○人口減少と高齢化 平成7年から人口減少に転じ、高齢化も進み、今後進行することが予想される。特に郊外の地区ではその傾向が顕著である。</p> <p>○中心市街地の変化 車社会の進行と、大型店の郊外出店などを背景として、中心市街地では、人口減少や空き店舗の増加等による商業機能の低下など、空洞化が起きている。</p> <p>○路線バスの廃線とコミュニティバスの増加による市の財政負担の増加 近年、路線バスの利用者が減少し、多くの路線が廃止になっている。その代替として、市がコミュニティバスや乗合タクシーを運行しており、市の財政負担が増加している。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。</p>	<p>現行の新発田市地域公共交通網形成計画を踏襲しつつ、新たな推進の追加、現状分析や調査等を踏まえ策定する。</p> <p>【事業名】 新発田市地域公共交通計画策定業務</p> <p>【実施時期】 令和4・5年度</p> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周辺地区の公共交通の早急な整備 定路線迂回型運行を展開し、周辺地区と中心市街地を結ぶ市民の生活の足を維持・確保する。 ○まちなか移動を支える公共交通の充実 中心市街地では、市街地循環バス「あやめバス」の充実により、まちなかの活性化につなげる。 ○地域で持続可能な公共交通の新たな仕組みの導入 市民が主体的に検討と取組を推進できる環境をつくり、持続可能な公共交通を地域とともにつくる。 ○地域の輸送資源の総動員や新技術の活用による運行の効率化 スクールバス、観光送迎バスなどの地域の輸送資源の総動員により、市民の移動手段を確保する。 AIやMaaSなどの新技術を取り入れ、利便性・効率性向上を図る。